

国際物流戦略于一ム第32回幹事会 開催報告

京都大学 名誉教授 小林潔司

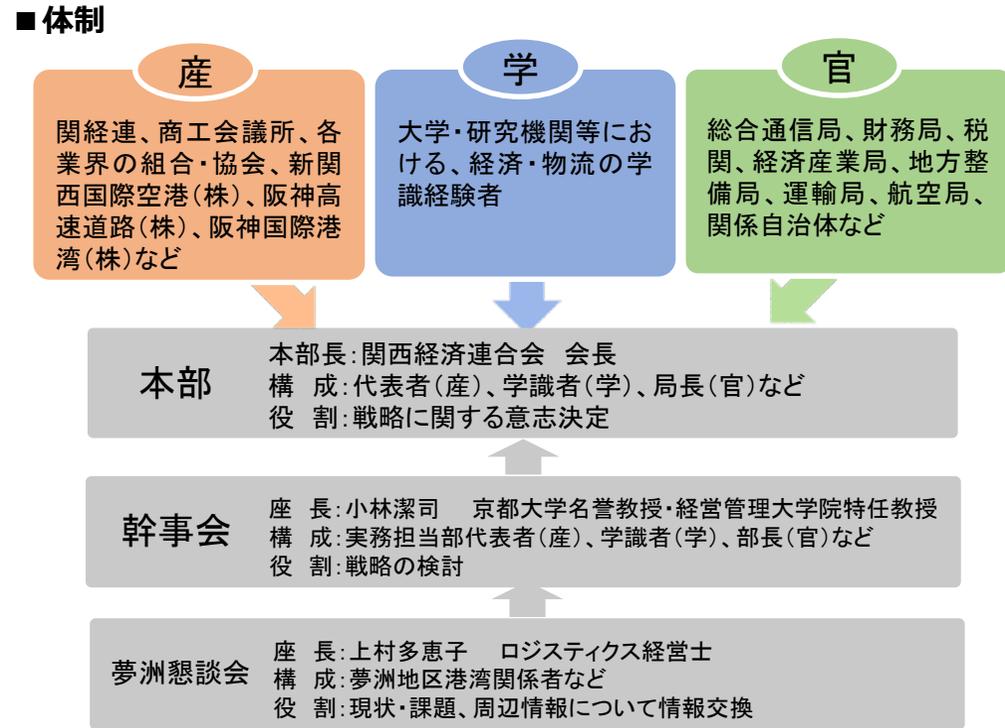
国際物流戦略チーム第3 2回幹事会 開催報告

- 国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指し、産・学・官が一体となって各種方策に取り組んでいる国際物流戦略チームについて、2021年1月27日に第32回幹事会を開催した。
- 第32回幹事会においては、国際物流戦略チームの取組状況について報告がなされたほか、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による関西の物流への影響について議論がなされ、来年度、withコロナ時代の物流の在り方を「今後の取組」に反映していくことを確認した。

- 国際物流戦略チーム第3 2回幹事会の主な議事：
- 国際物流戦略チームの構成員の変更について
 - 国際物流戦略チームの取組状況について
 - 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による近畿における物流への影響について
- ⇒ 来年度コロナの影響を踏まえ「今後の取組」を改定することを確認した。
- 大阪港夢洲地区における物流に関する検討について 等

- 国際物流戦略チーム
- 関西経済連合会や国際物流施策推進本部における提案を受け、全国に先駆けて、平成17年度に関西において設置された機関。
 - 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指し、産・学・官が一体となって各種方策に取り組んでいる。

■ 第3 2回幹事会 （2021年1月27日） の状況



- 「今後の取組」については、平成30年度に「今後の取組」検討ワーキンググループを設置し、近年の国際物流を取り巻く環境の大きくかつ急速な変化に対応するため、これまでの短期（概ね3年後）の取組内容に加え、中長期（10年後）の取組を策定。
- withコロナ時代の物流の在り方を反映するため、次年度の改定を予定。

■ 検討体制

事務局（関西経済連合会、国土交通省近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪航空局）において素案を作成予定。
（必要に応じ構成員等に個別にヒアリングなどを実施。）

■ 改定スケジュール

- ・夏頃までに事務局で改定案の作成
- ・10月頃（目途）に第33回幹事会を開催し、素案の提示
- ・1月頃（目途）に第34回幹事会を開催し、第33回幹事会での意見を踏まえた改定内容の確定
- ・3月頃（目途）に第18回本部会合を開催し、正式に確定

■ 現時点で想定される改定内容

- ・ withコロナ時代の物流の在り方について
- ・ ワクチン輸送などに係るコールドチェーンの強化
- ・ 国際物流のデジタル化の推進
- ・ 物流の脱炭素化の推進
- ・ そのほか（ヒアリングなどを通じて必要な取組を精査）

< 現行の「今後の取組」の具体的な取組 >

- 事業者による新たな取組の開拓・支援
 - － 崩れないグローバルコールドチェーンの構築
 - ・ 情報プラットフォームの構築
- 特区制度の活用
- 各分野における物流機能強化
 - － 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の競争力強化
 - ・ 阪神港への集貨
 - ・ 阪神港での創貨
 - ・ 阪神港の競争力強化
 - － 国際貨物ハブ「関西国際空港」の機能強化
 - ・ エアライン・フォワーダーの拠点整備
 - ・ エアライン・フォワーダーの拠点機能の誘致
 - ・ 医薬品輸送の高品質化
 - ・ 生鮮貨物ハブ空港へ向けた取組
 - － 道路ネットワークの形成
 - － 鉄道の国際複合一貫輸送の推進
- 国際物流を取り巻く多様なニーズへの対応
 - － 安全・安心な物流体系の構築
 - － 低炭素社会への実現に向けた新たなエネルギー需要への対応
 - － 労働力不足への対応